

(別添 4)

【伊奈町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒の資質・能力及び生きる力の育成を目指し、教科等の特質を踏まえ、具体的な学習内容や児童生徒の状況に応じて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行っていきます。その中で、1人1台端末を始めとするICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、児童生徒が社会で生きていくために必要な資質・能力を身に付けられる学びの姿を目指します。

2. GIGA第1期の総括

伊奈町では令和2年度末より1人1台端末の整備を実施し、学習活動でICTを利活用できる環境を整備しました。各町立小・中学校においては、ICTに「触れる・慣れる」から「普段使い」へ、そして「必要に応じて『デジタル』と『アナログ』を主体的に選択・併用・使い分け」ができることを目指し、ICT利活用の推進に取り組みました。令和6年度現在、各校では児童生徒の実態や教科等の学習内容に応じて、1人1台端末を日常的に活用するツールとして学習活動に取り入れています。

その中で、令和3年度より導入した授業支援システム等の効果的な活用が図られており、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながっています。活用の場面としては、進度や習熟に合わせた問題演習への取組、学級全体やグループでの感想や考えの共有、考えの違いや共通点などについての比較・相互評価、情報の集約や整理、発信等が挙げられます。

また、ICTを活用することでオンライン配信が可能となり、参集することが困難な場合の集会や学校公開、感染症等による欠席児童生徒への遠隔授業、さらには他校や海外を含めた外部機関との交流の場面でも、効果的に活用しています。

さらに、各校において1人1台端末の持ち帰りのルールを整備し、家庭学習においても端末を活用できるようにすることで、学習の質を充実させることができるよう取り組んでいます。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末を適切に整備・更新することにより、1人1台端末環境を引き続き維持することを前提として1人1台端末の利活用に取り組みます。その中で、時代や社会の変化に対応して情報を主体的に捉えながら、何が重要かを主体的に考え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値を創造していくことのできる力を育成することを目指します。

具体的には以下のような方策のもと、取り組んでいきます。

- (1) 1人1台端末を活用し、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人の学習の個別最適化を目指します。それにより得られる学習ログ等を十分に活用し、主体的、意欲的な学習活動の充実に努め、自ら発信しようとする主体的な子供たちを育成します。
- (2) 子供たちが情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ主体的、積極的に活用するとともに、情報技術を手段として学習や日常生活に活用できるようにするため、各教科において1人1台端末を適切に活用した学習活動の充実に図ります。